

記入例

(別記様式)

令和8年度 東北農林専門職大学『新規就農支援研修』申込書

令和 年 月 日

1 住所、氏名等

ふりがな	-----	男	電 話	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
氏 名	農 林 太 郎	女	携 帯 電 話	— —
			F A X	— —
生年月日	S・H61年 5月 1日 40歳		E-mail	
現 住 所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 山形県〇〇市〇〇〇〇			
最終学歴	H〇〇年 〇〇月 (学校名) 〇〇大学 卒業・見込み			
最終職歴	R〇年 〇 月 退社 (最終勤務先) 〇〇株式会社			

写 真
(3カ月以内)
4×3cm

2 研修受講を希望する理由、及び就農後に目指す農業経営

(例)私は大学卒業後、県外で〇〇の仕事に就いていたが、父親の入院をきっかけに、帰郷し、家業の農業経営を継ぐことを決意した。私自身はほとんど農作業の経験がないため、1年間しっかり研修し、ひとつおりの技術を身につけたい。実家はさくらんぼを中心とした果樹農家で、専業でやっていける農地はあると思われるので、桃等他樹種の栽培技術も学び、一緒に就農を決意してくれた妻と父母計4人が暮らしていけるような農業所得を得られるよう、がんばりたい。

3 研修希望科目＜主な希望科目1つに☑印を付け、具体的な品目・内容を記入ください。＞

☐ 水稻 ☐ 野菜 ☒ 果樹 ☐ 花き ☐ 畜産 ☐ その他 ()

具体的な品目・内容	さくらんぼ、もも など
-----------	-------------

4 農作業実習先＜農作業を行う実践研修として、希望する研修先に☑を付けてください。また、具体的な研修先がありましたら記入ください。＞

☒ 農業経営者 ☐ 試験研究機関 ☐ 自宅等 (自宅等で農業に従事しながら講義を受講)

具体的な研修先 (受入農業者氏名・住所) (試験研究機関名)	山形県〇〇市大字〇〇 〇番地 最上 次郎
--------------------------------------	-------------------------

(参考) 前年度農業実習先 ※2年目研修希望者のみ記入

1年目研修先 (受入農業者氏名・住所) (試験研究機関名)	山形県〇〇市大字〇〇 〇番地 置賜 三郎
-------------------------------------	-------------------------

(裏面に続く)

5 実習研修先での希望実習日数＜農業実習の希望日数に☑を付けてください。＞

☐週5日 ☒週4日 ☐週3日 ☐その他日数（週 日）

6 研修期間＜いずれかに☑を付けてください。＞

☒1年間 ☐2年間（2年目の研修希望先； ） ☐未定

7 新規就農者育成総合対策（就農準備資金）の希望の有無＜いずれかに☑を付けてください。＞

☒希望する（☒1年間 ☐2年間） ☐希望しない ☐未定

8 家族構成（同居）

氏名	続柄	年齢	農業従事状況	氏名	続柄	年齢	農業従事状況
農林一郎	父親	78	年間 200 日				年間 日
農林花子	母親	72	年間 150 日				年間 日
			年間 日				年間 日

9 就農形態＜いずれかに☑を付けてください。＞

☐親族の経営の全部又は一部を引継ぎ就農 ☒親族の経営とは別に新規部門で就農
☐農業法人に就農 ☐その他（ ）

10 農業基盤の状況＜実家又は親族等が現在有している農業基盤を記入ください。＞

所有農地	経営面積(a)	主な栽培作物(品目)・家畜	主な機械・施設・規模
水田	50a	(近隣農家に貸している)	
畑	—		
樹園地	70a	さくらんぼ、桃、りんご 等	スピードスプレヤー、高所作業台車
草地飼料畑	—		
その他	—		

11 個人情報の共有に関する同意 ☐ ＜同意の場合☑を付けてください。＞

就農支援のため、本学その他、必要に応じ、県農林水産部関係各課・農業総合研究センター・各総合支庁各農業技術普及課、各農業振興課・関係市町村・(公財)やまがた農業支援センターで情報共有することに同意します。

(事務局記載欄)